学校番号	1006

令和８年度　総合福祉科

教科	総合福祉	科目	保育のピアノ	単位数	２単位	年次	２or３年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・保育の仕事ではピアノは必須です。初めて弾く人も多いと思いますが、基礎からしっかり学び、希望の仕事に就けるようにがんばりましょう。
・毎日練習することが上達への近道です。少しずつでいいので毎日の練習を欠かさずしましょう。

2　学習の到達目標

保育の仕事に従事するために必要なピアノ・歌唱に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、保育士として必要な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
（１）読譜のための知識を身に付けるようにする。
　　ピアノを演奏するための手や指の使い方を身に付けるようにする。
　　ピアノを弾きながら歌う技術を身に付けるようにする。
（２）楽譜の中にある強弱記号やスラーがなぜつけられているか、つくことによってどのような表現効果があるか考え。自分なりの工夫をすることができる。
　　保育士としてどのような表現がよいか考えて演奏や歌唱をする。
（３）ピアノの演奏技術を身に付けることに対し、主体的に粘り強く練習をする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ピアノという楽器の特性とピアノを演奏するにあたって必要な楽譜の表記について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、ピアノ演奏と弾き歌いで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもっている。	主体的・協働的にピアノ演奏や弾き歌いの学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ピアノ演奏の基礎知識	ピアノを演奏する際の座り方、姿勢、手の形 ト音記号の意味と記号が表すピアノの鍵盤の位置 ト音記号で記譜された楽譜の読み方 音符の長さについて	a:【知】ピアノ演奏に必要な奏法や楽譜、音符の長さについて理解している。 b:ピアノ演奏の基礎知識を演奏でどのように活用していくかについて思考・判断している。 c:ピアノの基礎知識に関心をもち、主体的に学ぼうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
	ピアノを弾いてみよう	バイエル 「右手の指の打鍵練習」 「左手の指の打鍵練習」 「両手でいっしょにひく練習」 No3～No22	a:【知】拍子・休符・運指について正しく理解している。 【技】拍子・休符・運指を守って弾く技能を身に付け、演奏で表している。 b:拍子・休符・運指を守ってどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:拍子・休符・運指に注意して弾くという学習活動に主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	指が独立して動くように練習しよう	速度標語の意味 バイエル No23～No43	a:【知】速度標語について理解している。 【技】速度標語で指示された速度で弾くための指の動かし方などの技能を身に付け、演奏で表している。 b:速度の変化を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:速度標語で指示された速度で演奏することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

二学期	弾き歌いに挑戦しよう	童謡の弾き歌い 「ぶんぶんぶん」 「こいのぼり」 「かたつむり」	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】弾きながら歌うという二つのことを同時に行うために必要な技能を身に付け、演奏と歌唱で表している。 b:旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもっている。 c:弾きながら歌うことに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	両手で弾くことを楽しもう	バイエル No44～No64	a:【知】両手で弾くために必要な練習方法を理解している。 【技】右手と左手がある程度独立して動かせる技能を身に付け、演奏で表している。 b:右手と左手それぞれの旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもっている。 c:両手で弾くことで生まれる音楽表現の幅の広がりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

三学期	色々な弾き歌いの曲を経験しよう	童謡の弾き歌い 「おべんとう」 「おはよう」 「おかえりのうた」 「思い出のアルバム」	a:【知】保育者として弾き歌いをするために必要な知識を理解している。 【技】園児が楽しめるような弾き歌いができるために必要な技能を身に付け、演奏と歌唱で表している b:旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもっている。 c:園児が楽しめる音楽を弾き歌いで表現するということに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	広い音域の曲に挑戦しよう	バイエル No65～No80	a:【知】広い音域を弾くための指使いについて理解している。 【技】広い音域を弾くために必要な指使いや手首の動きに関する技能を身に付け、演奏で表している。 b:広い音域の旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもっている。 c:広い音域を演奏することで生まれる音楽表現の幅の広がりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度